

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/07/31号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

80ドル台回復、需給ひっ迫織り込む

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台まで値上がりし、4月19日以来の高値を更新した。需給ひっ迫化に対する警戒感が維持され、80ドルの節目を完全に上抜いている。季節的な需要拡大、サウジアラビアとロシアの供給調整を底流に、中国政府の景気刺激策への期待、黒海地区からの供給不安、米経済の減速懸念後退などを手掛かりに、上値追いの展開が維持された。米欧金融政策会合を無難に消化したことで、投資家のリスク選好性が高まっていることもポジティブ材料視されている。

需給ひっ迫化が警戒される地合いが続いている。年後半の需要拡大圧力に対して、サウジアラビアとロシアが供給調整を進めれば、国際原油需給が引き締るとの見通しが織り込まれている。中国を筆頭とした世界経済の減速懸念も根強いが、それを考慮に入れても需給ひっ迫傾向が強まるとの見方が織り込まれている。期近限月にプレミアムを加算する形での上昇相場になっている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (7月21日時点) は、原油が前週比60万バレル減、ガソリンが79万バレル減、石油精製品が25万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

年初来高値更新を打診する、根強い需給ひっ迫見通し

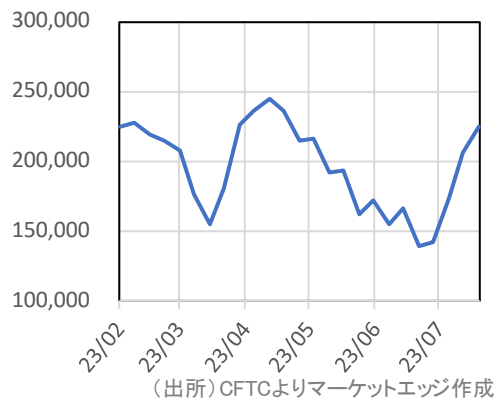
需給ひっ迫見通しを背景とした上昇地合が続く可能性が高い。80ドル台乗せでも達成感や過熱感は乏しく、4月12日の年初来高値83.53ドル突破を打診する展開になろう。期近限月主導の上昇地合が続く可能性が高い。

需給ひっ迫見通しが崩れる可能性は低い。季節的に需要拡大傾向は時間の経過とともに強まる見通しであり、そのタイミングでサウジアラビアとロシアが供給削減に踏み切るインパクトは大きい。8月はロシアの輸出削減が本格化するため、国際需給のひっ迫度合いは強まることになろう。特に米原油在庫の減少が確認できると、買い安心感が強まる見通し。

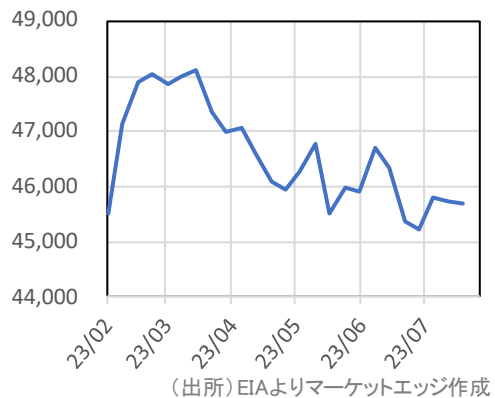
警戒されるのは世界経済の減速懸念だが、国際通貨基金（IMF）が今年の世界経済の成長率見通しを3.0%とし、4月時点から0.2%上方修正するなど、ネガティブ材料には出尽くし感が強い。7月24日の中国共産党政治局会議で内需を刺激する方針が打ち出されていること、4~6月期の米国内総生産（GDP）速報値が前期比年率2.4%増と、前期の2.0%増を大きく上回ったこともポジティブ。米欧金融政策会合を無難に消化したこともあり、需要サイドのリスクを織り込む必要性は限定されよう。

供給サイドでは、8月4日に石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）の開催が予定されている。産油政策の調整を勧告する可能性は低いが、イベントリスクとして注意は必要。特に、サウジアラビアが日量100万バレルの自主減産を9月まで延長するかが注目されているだけに、サウジアラビアの動きには注目したい。

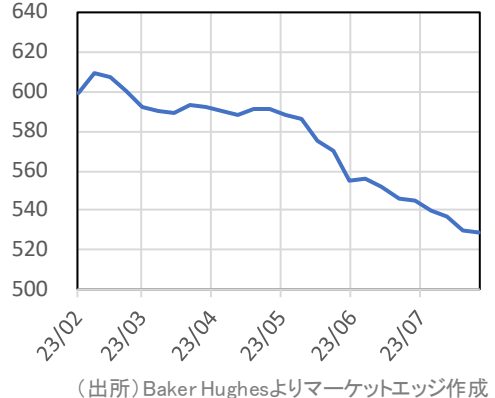
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

